

海況速報

昭和63年度 第1号 (No1)

北海道立中央水産試験場 海洋部

4月中～下旬の海況

4月は後半に入って全般に天候不順となり、オホーツク^海では流水が再び接岸し、海洋観測も予定線を総て実施することが出来ませんでした。4月中～下旬の海況の特徴をお知らせします。

[日本海海域]

沿岸域の表面水温は、道北沿岸域では4℃台、道央では5℃台、石狩湾海域では6～7℃台、道南では7～8℃台、津軽海峡～本州北部沿岸域では9～10℃を示していました。津軽海峡西口沖には沖合から分離された顕著な冷水域(表面:7℃台、50m層:4℃台、100m層:1℃台)が見られました。100m層では40°N、139°E付近にも3℃台の冷水域が見られました。

なお、今年の余市前浜沖の沿岸水温域の推移を平年に比べてみると、ほぼ並～やや高めの傾向を示しています。

[オホーツク海域]

沿岸域では、表面で3～4℃台、50～100m層では2℃台を示し

ていましたが、沖合域は表面でもマイナス水温を示していました(50～100m層:マイナス1℃台)。

[太平洋海域]

道東沿岸域の表層水温は一部2℃台の所もみられますが、大部分は1℃前後を示しており、50～100m層では沿岸域ほど冷たく、マイナス水温となっていました。

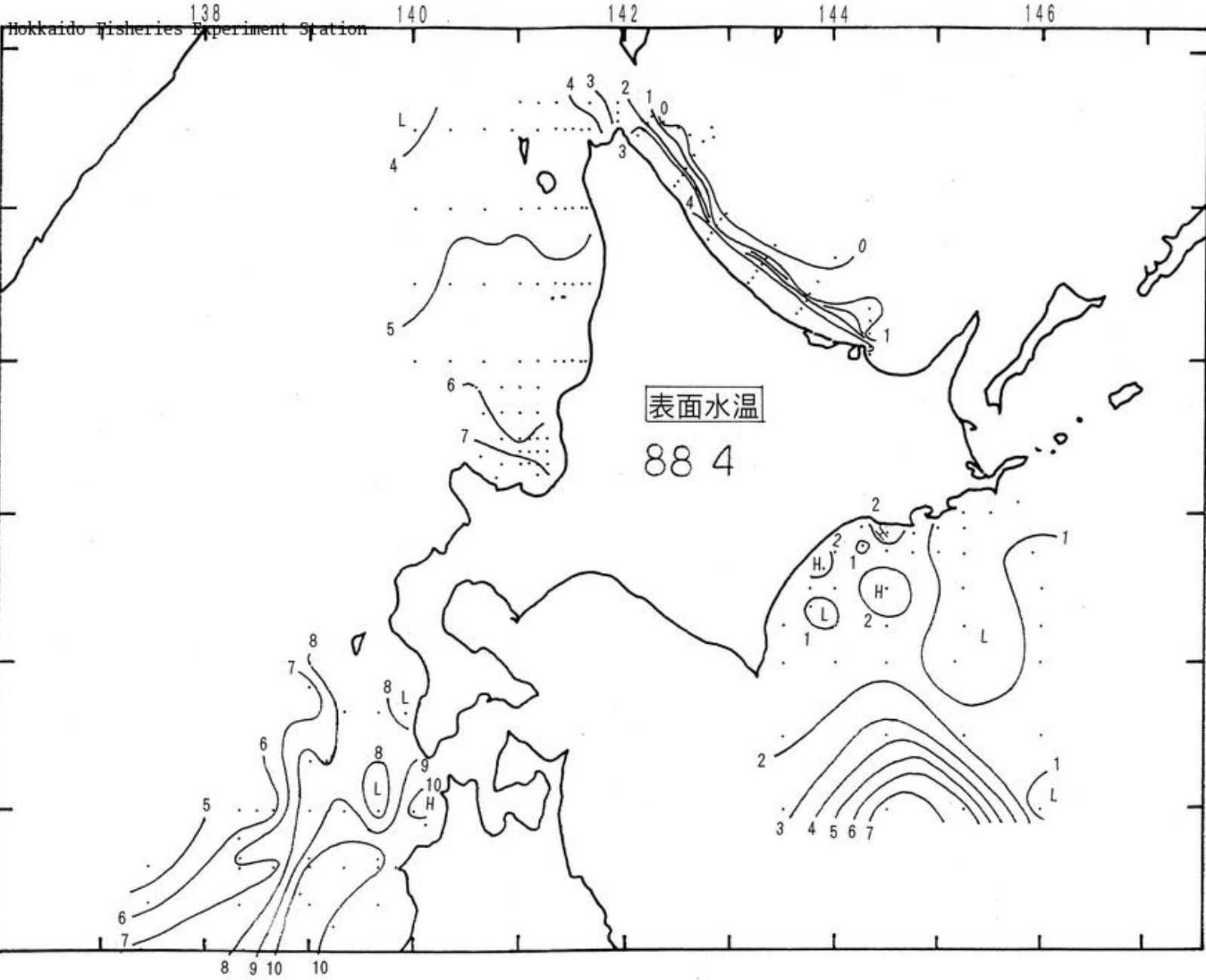
41°N、144°30'E付近を中心に暖水塊とみられる顕著な暖水域(表面から100m層まで、中心で7℃台)が見られました。

[海流図]

北部日本海～オホーツク海の表層流況は日本海では弱く、宗谷海峡付近からオホーツク海沿岸域で強く、宗谷岬沖では2ノット以上の強流帯が観測されました。

— 資料出所 —

北洋丸(稚内水試) 4月11～13日(日本海定期観測)
北洋丸(稚内水試) 4月21～26日(オホーツク定期観測)
北辰丸(釧路水試) 4月11～14日(太平洋定期観測)
おやしお丸(函館水試) 4月13～21日(日本海マス調査)
金星丸(中央水試) 4月13～14、28(日本海定期観測)
このほか、東奥丸(青森水試)4月11～26日の観測資料を使用した。



138

140

142

144

146

Hokkaido Fisheries Experiment Station

